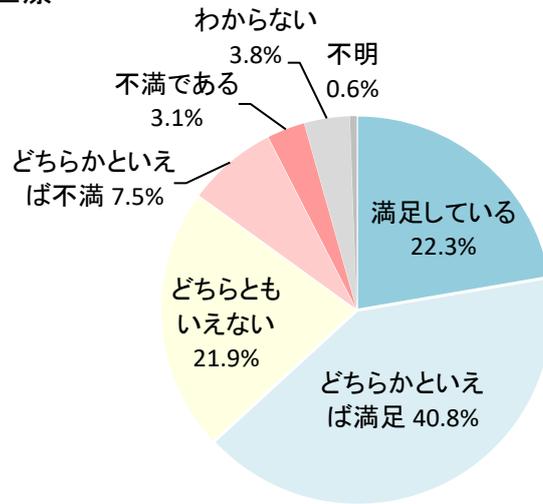


令和3年度県民意識調査 速報値(全体版)

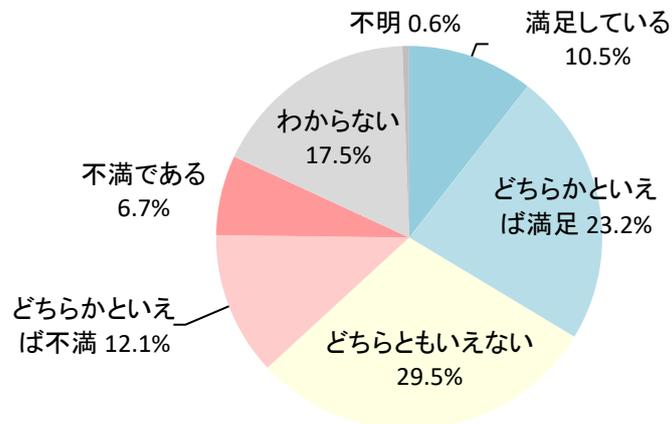
【県民生活の満足度】

●健康

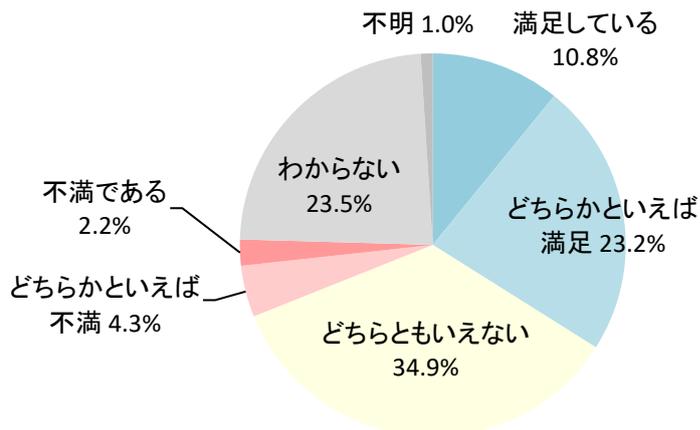
Q1-1: 日常医療



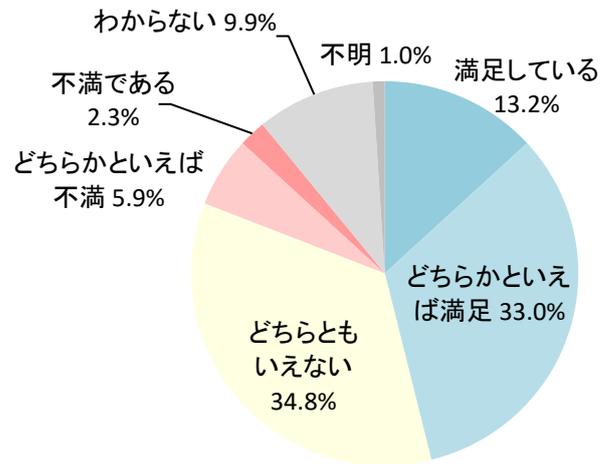
Q1-2: 救急医療



Q1-3: 検診・相談

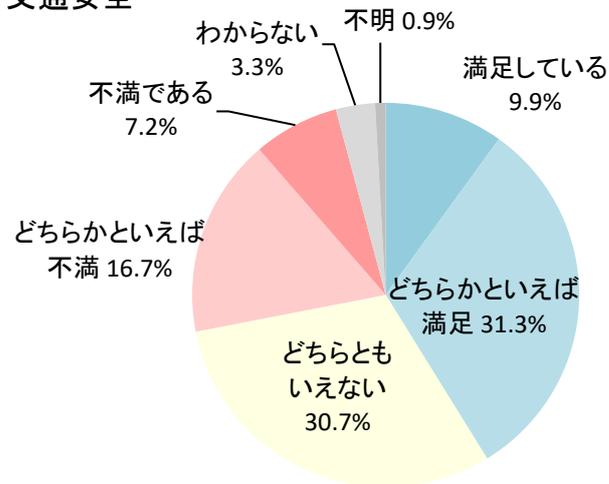


Q1-4: 健康全般

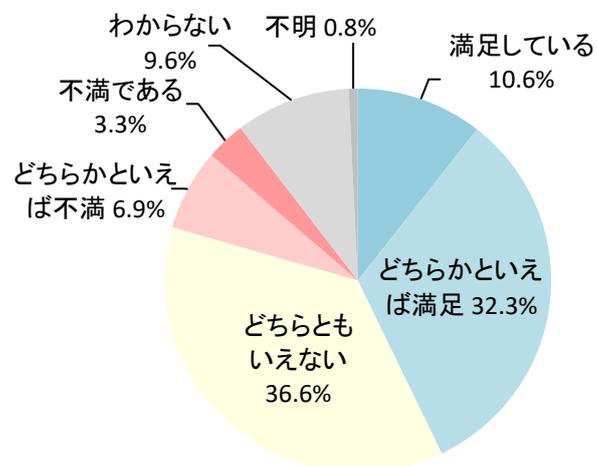


●安全

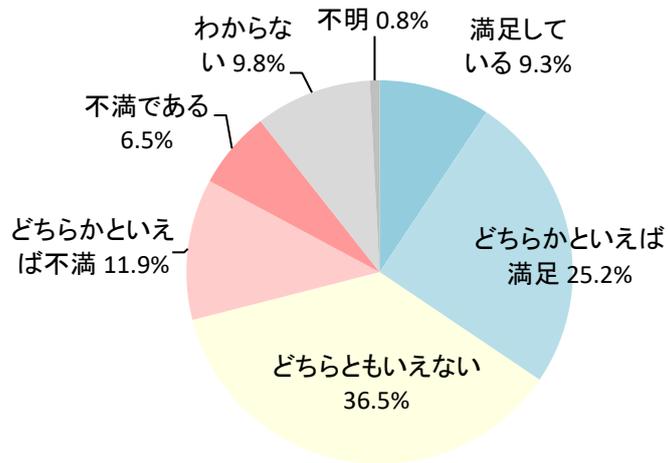
Q1-5: 交通安全



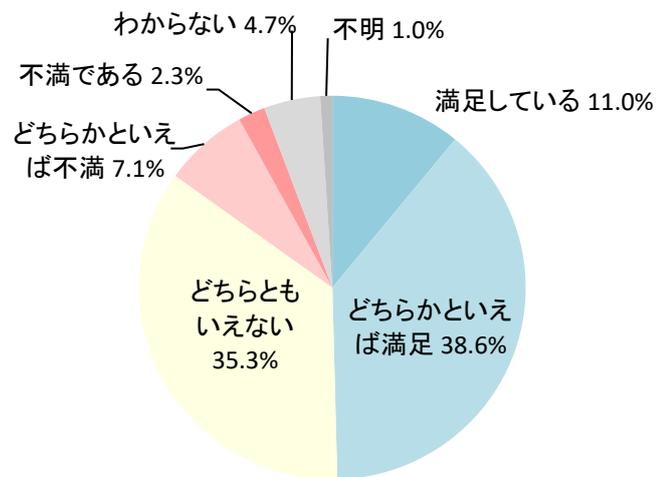
Q1-6: 防犯・防火



Q1-7: 自然災害

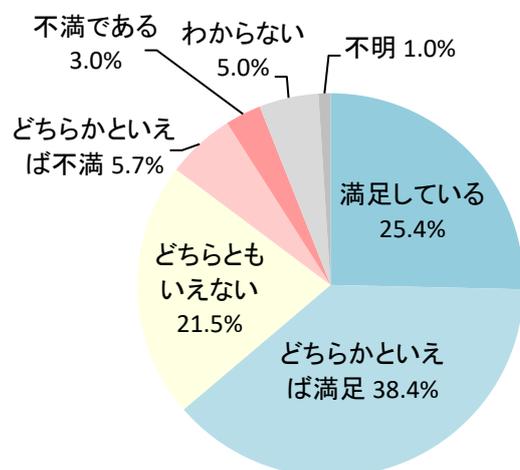


Q1-8: 安全全般

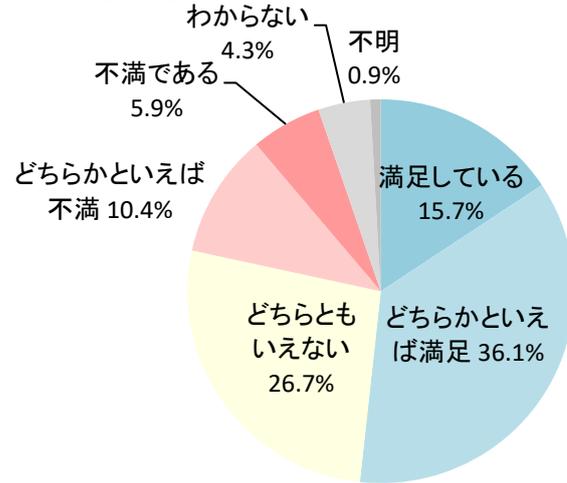


● 居住環境

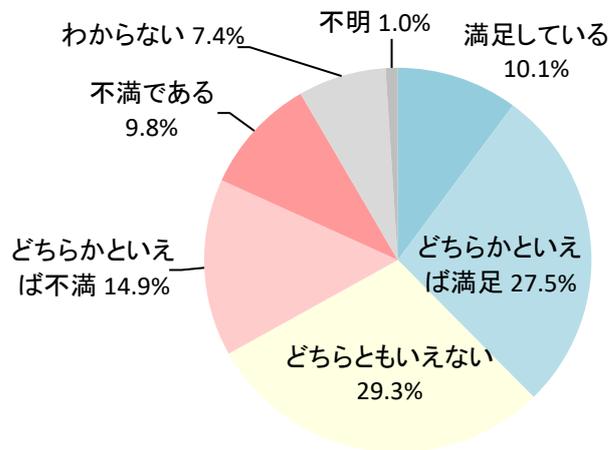
Q1-9: 自然環境



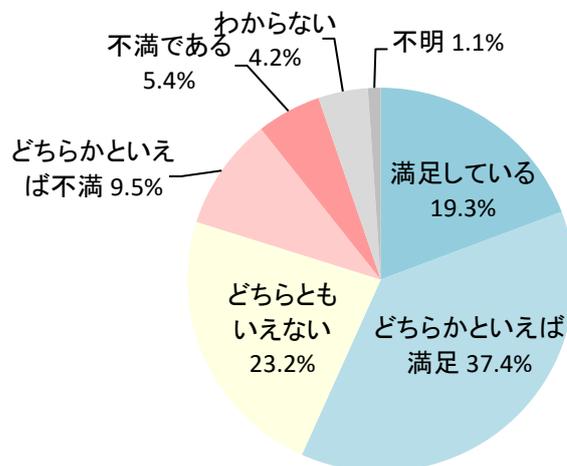
Q1-10: 大気汚染等



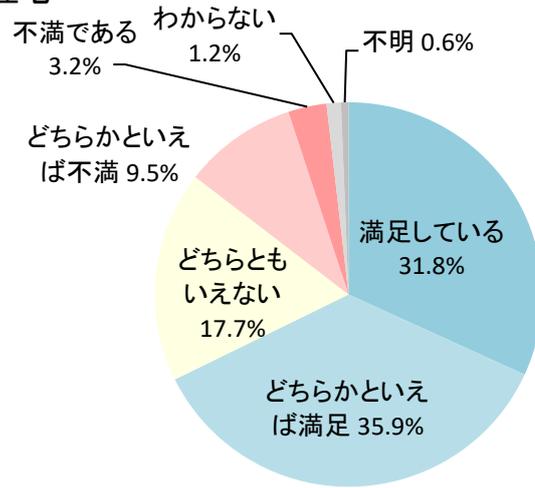
Q1-11: 公園広場等



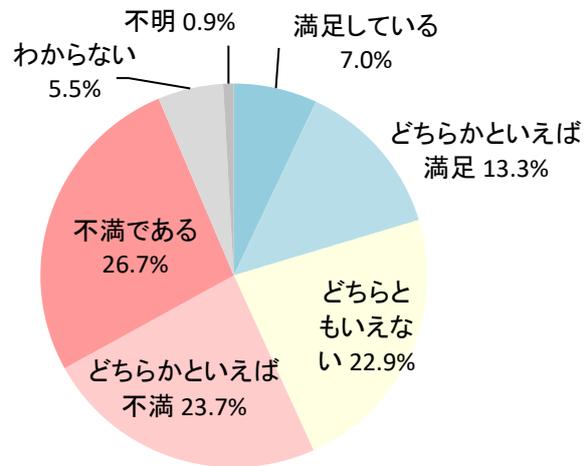
Q1-12: ごみ・生活排水



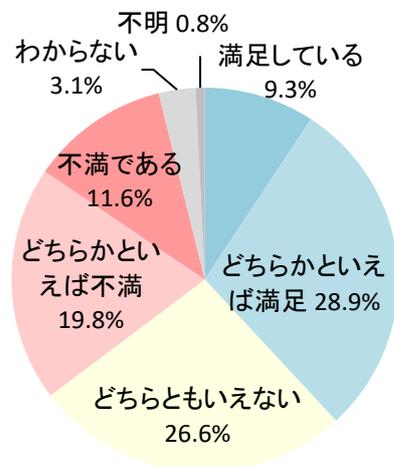
Q1-13:住宅



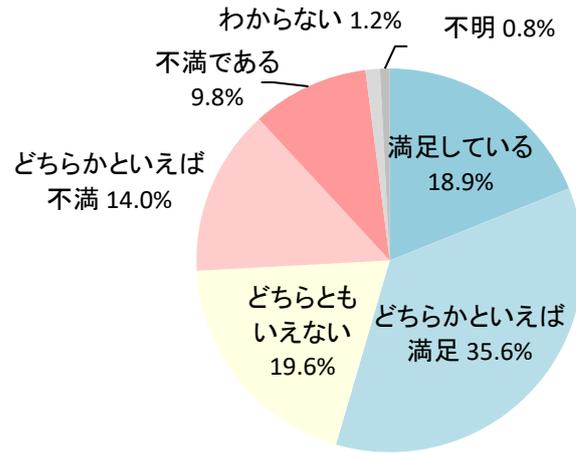
Q1-14:公共交通機関



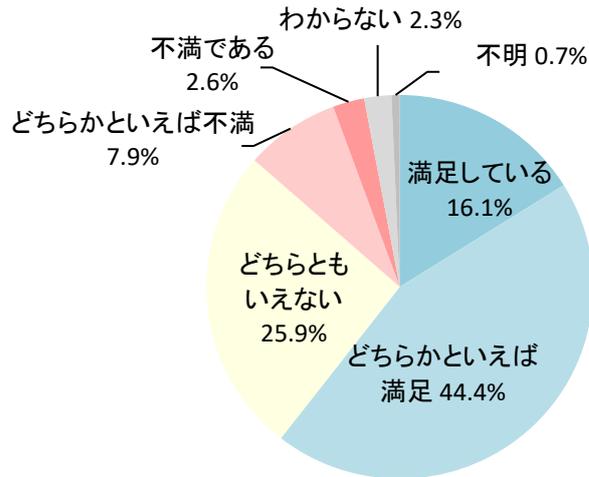
Q1-15:道路



Q1-16: 買い物

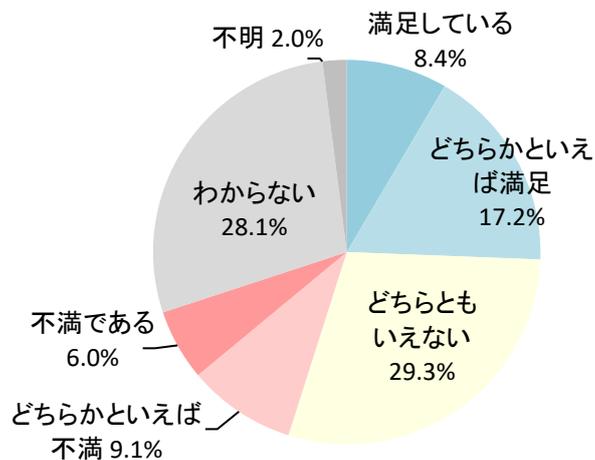


Q1-17: 居住環境全般

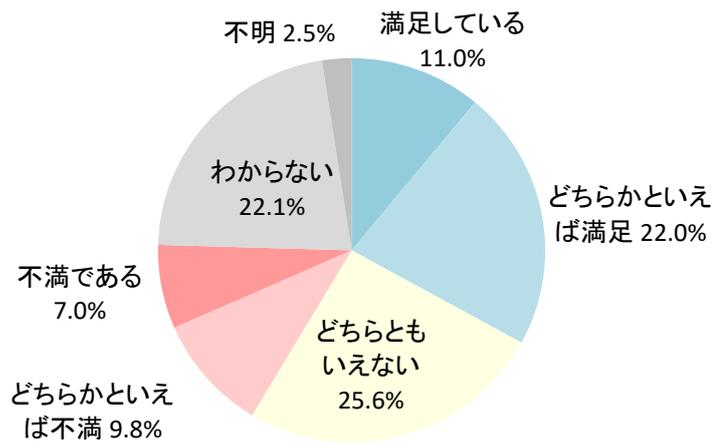


● 労働

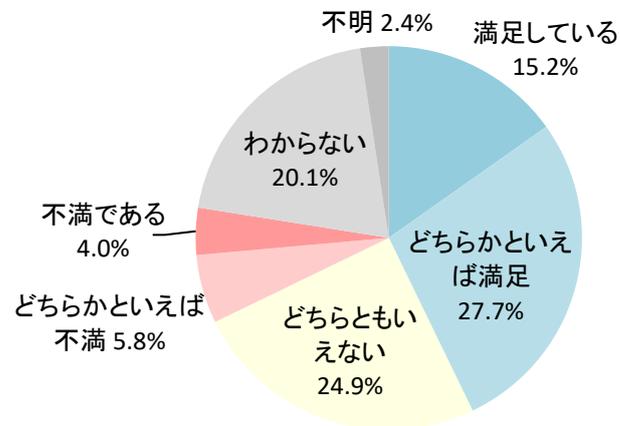
Q1-18: 就職の機会



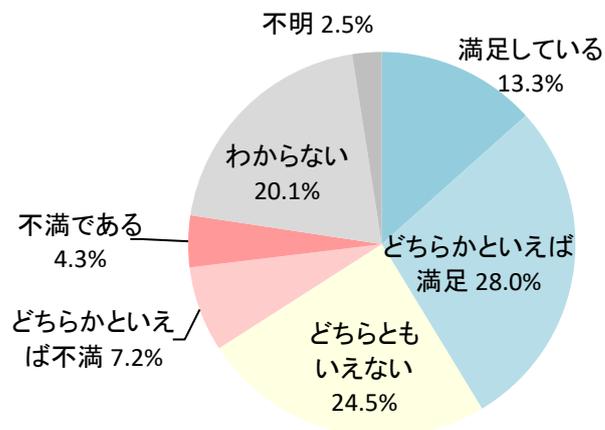
Q1-19: 労働条件



Q1-20: 仕事のやりがい

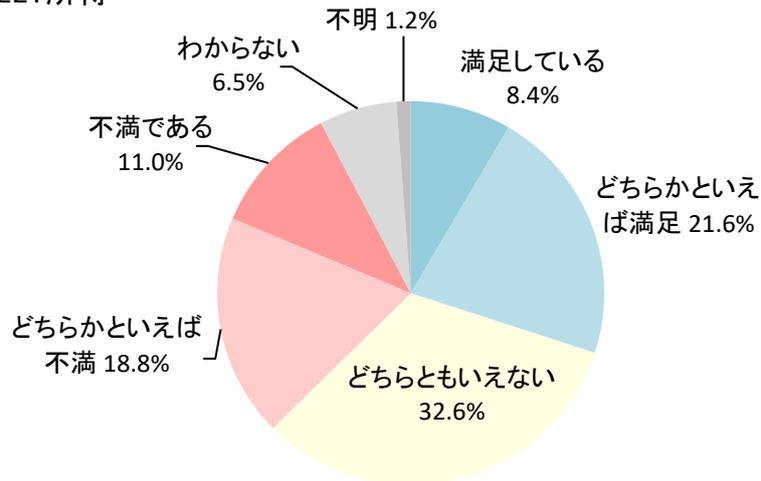


Q1-21: 労働全般

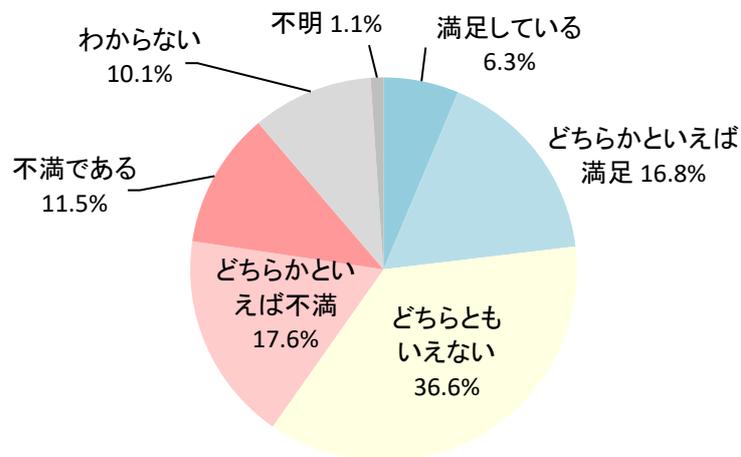


●所得・消費

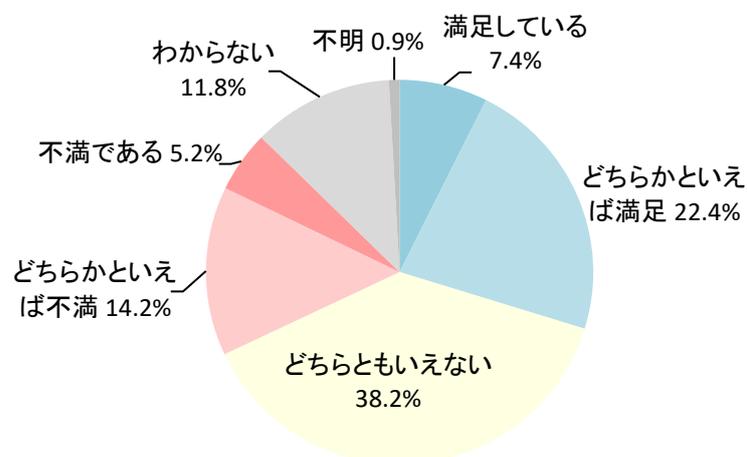
Q1-22:所得



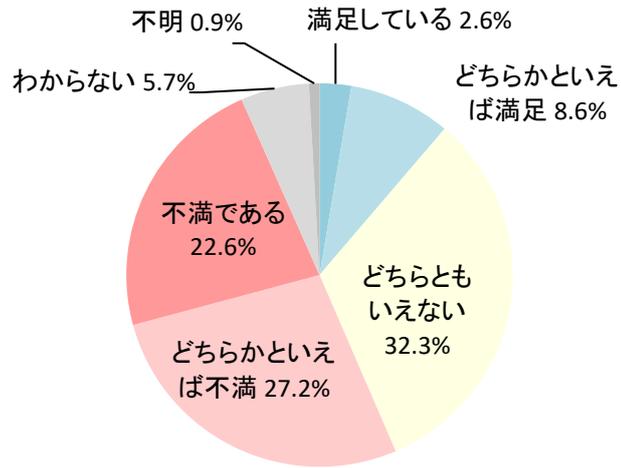
Q1-23:資産



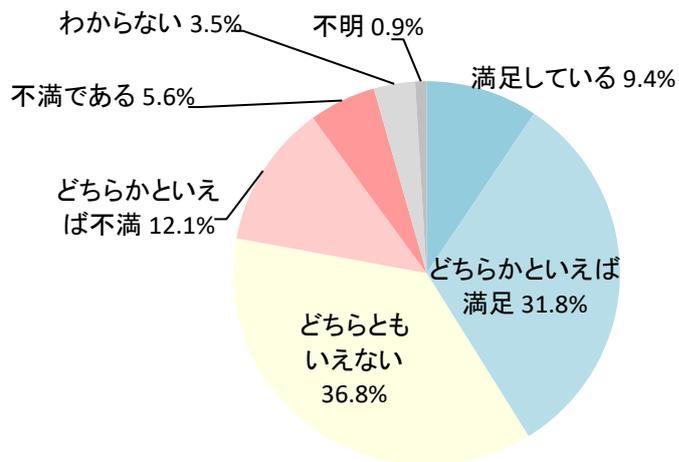
Q1-24:消費



Q1-25: 物価

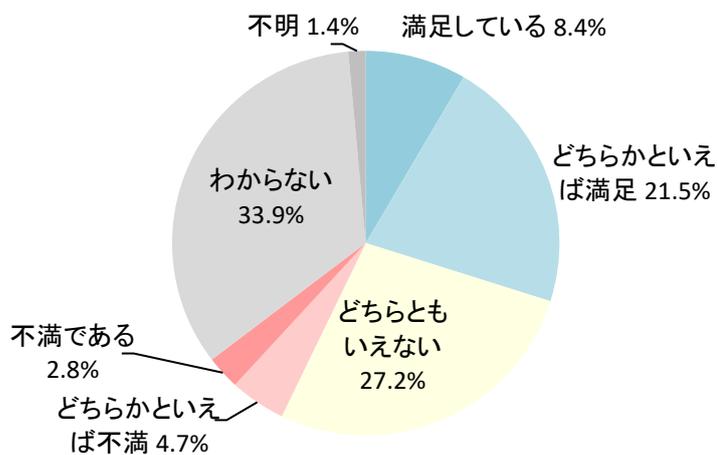


Q1-26: 所得・消費全般

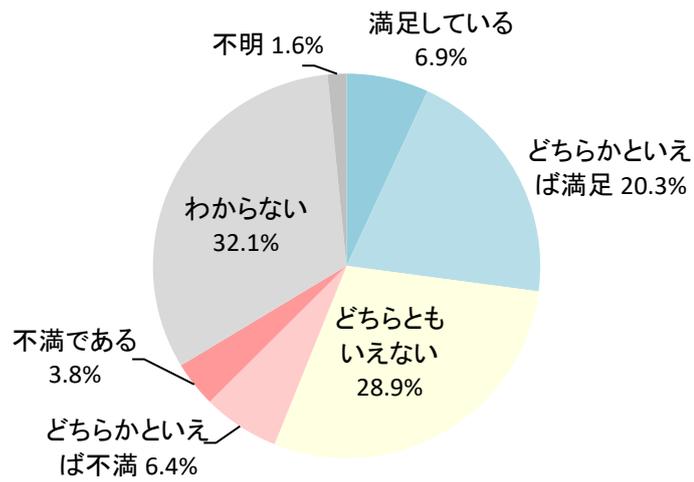


●教育・文化

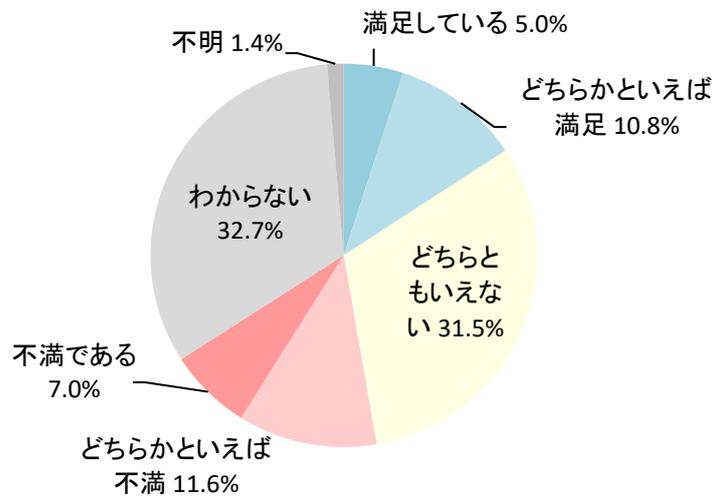
Q1-27: 幼稚園・保育所



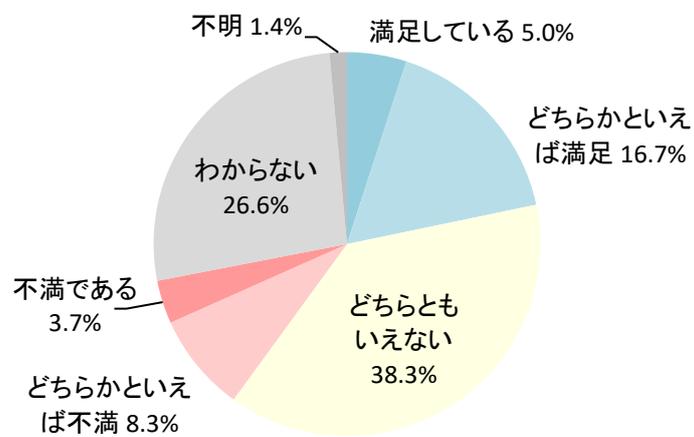
Q1-28: 小中高の教育



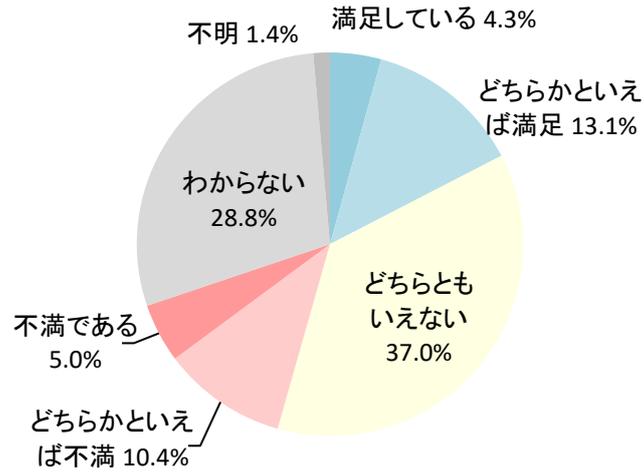
Q1-29: 高等教育の機会



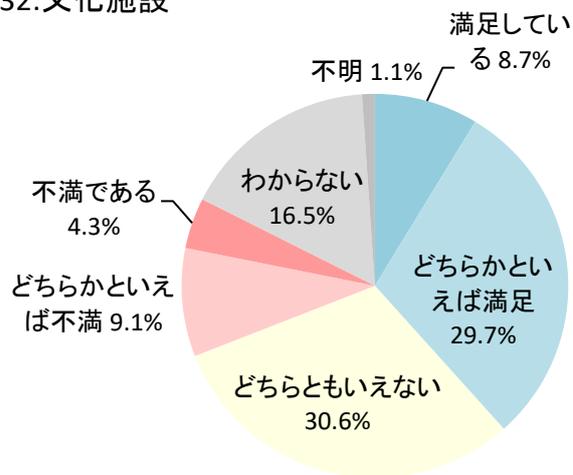
Q1-30: 家庭教育



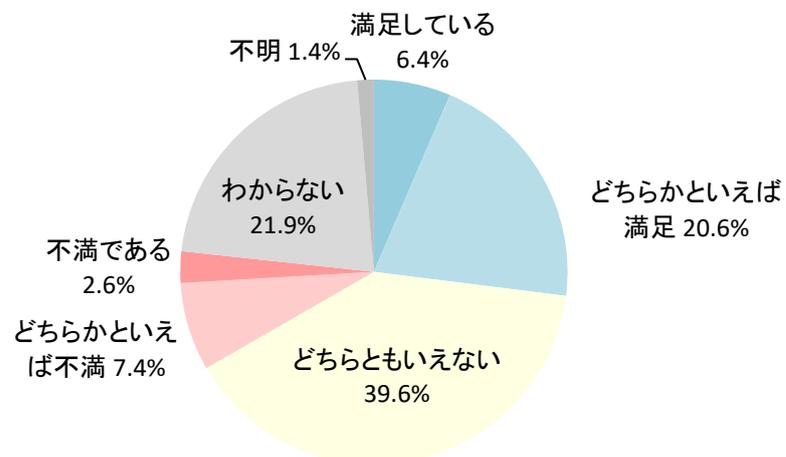
Q1-31:生涯学習



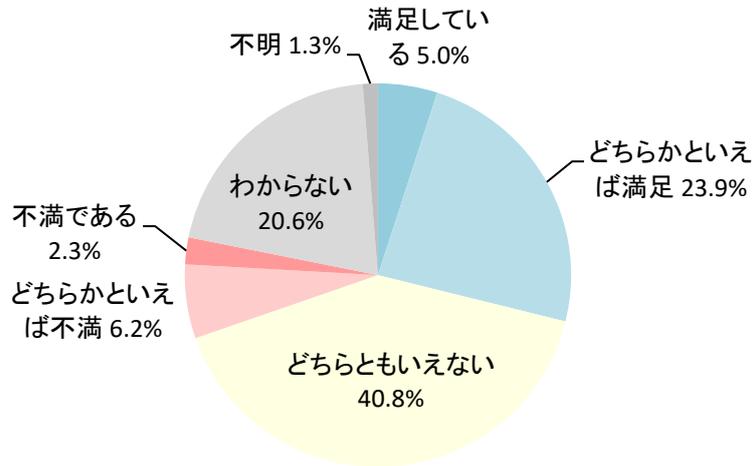
Q1-32:文化施設



Q1-33:文化財・伝統継承

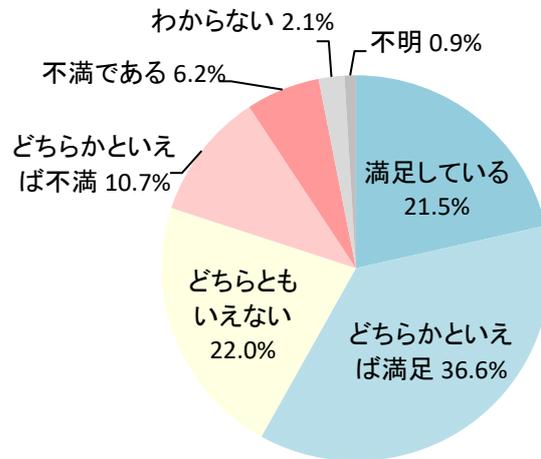


Q1-34: 教育・文化全般

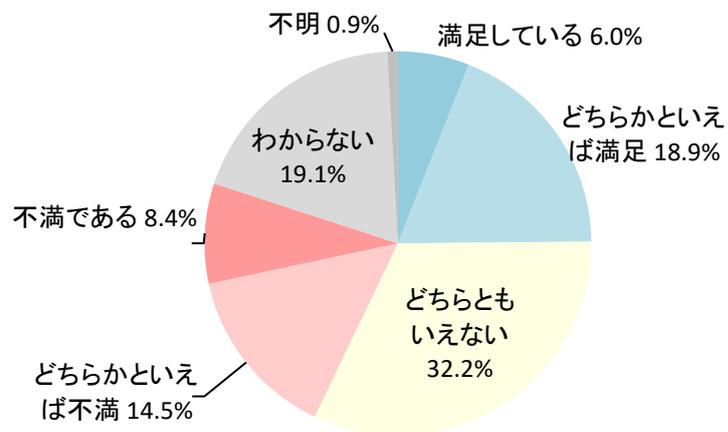


● 余暇

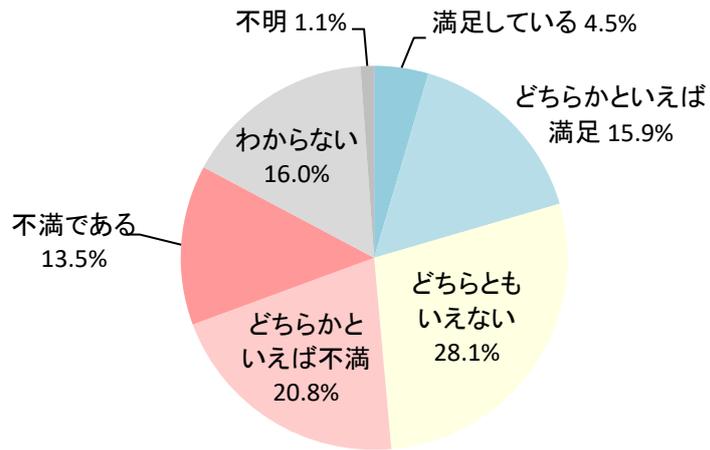
Q1-35: 自由時間



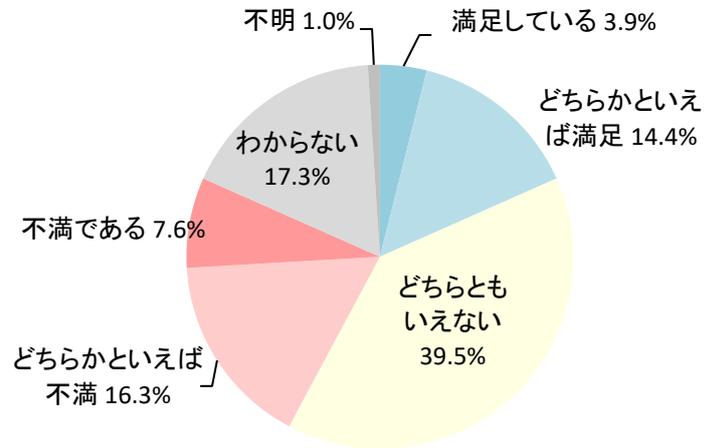
Q1-36: 余暇施設



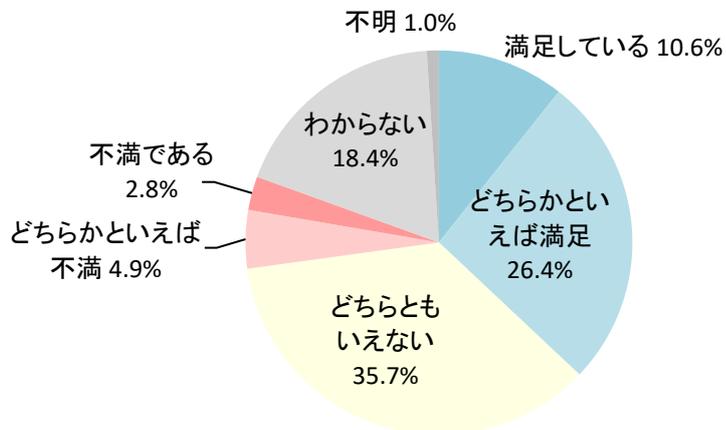
Q1-37: 娯楽



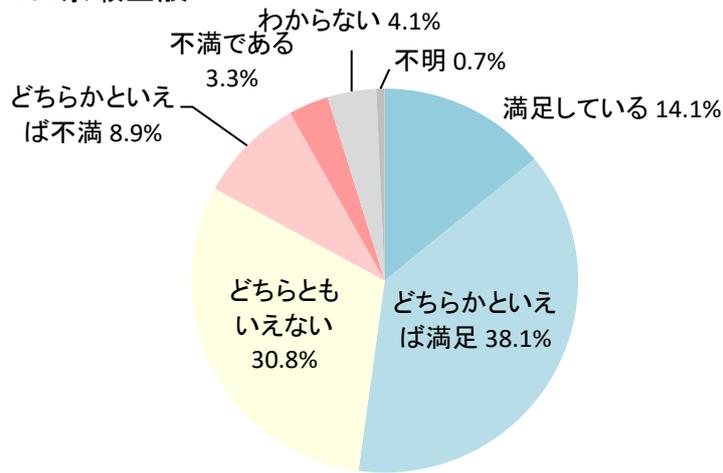
Q1-38: 余暇情報



Q1-39: 自然と親しむ機会

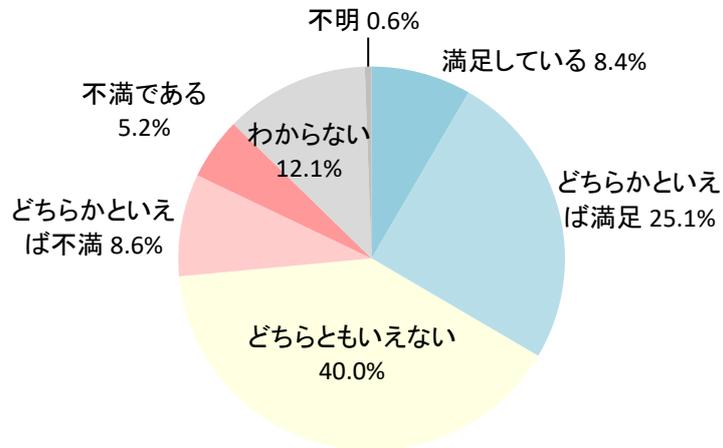


Q1-40: 余暇全般

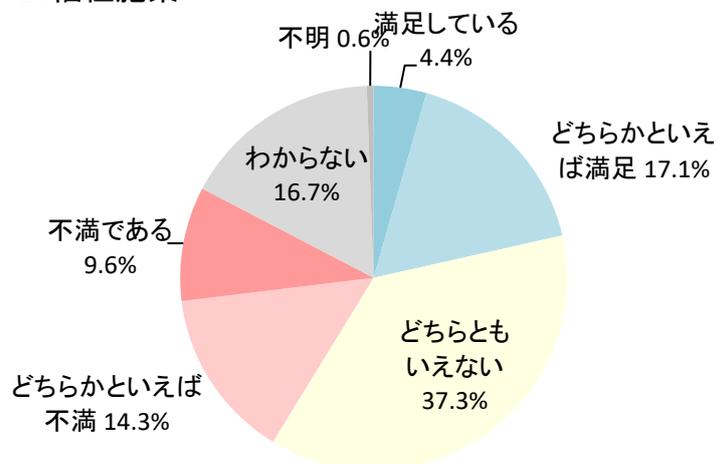


● 福祉・連帯

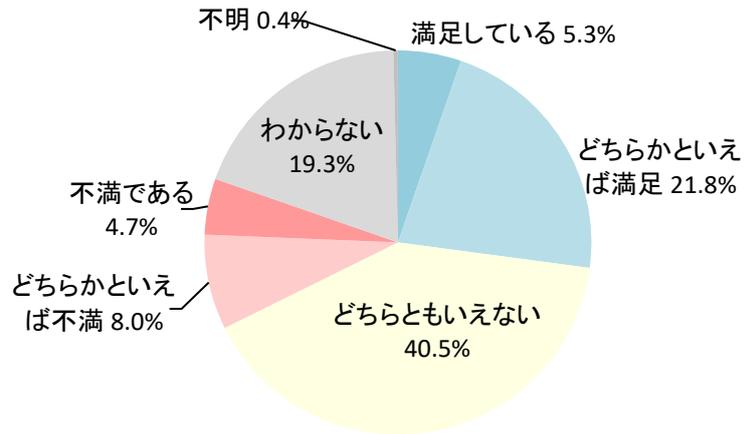
Q1-41: 地域とのつながり



Q1-42: 福祉施策

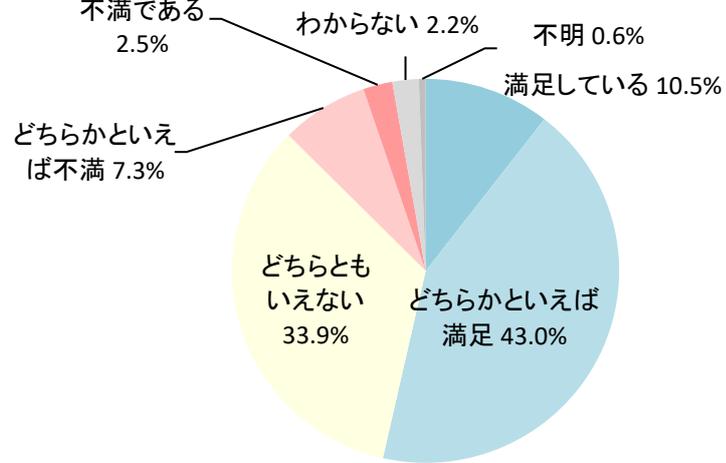


Q1-43: 福祉・連帯全般

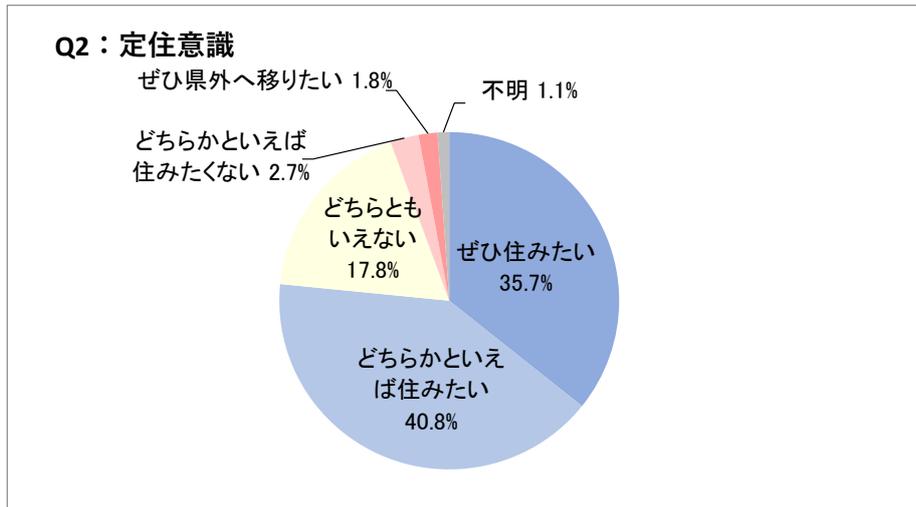


●生活全般

Q1-44: 生活全般



【主要な事項についての県民選好度】



Q3：山梨県のよいところ

順位	選択肢	%
1	自然環境に恵まれている	85.6
2	自然災害が少ない	55.8
3	大気汚染や水質汚濁などが少ない	31.3
4	東京に近くて便利	28.5
5	人情味がある	15.0
6	買い物に便利	13.3
7	素晴らしい伝統や文化が残っている	9.1
8	物価が安い	8.3
9	将来発展する可能性がある	6.0
10	通勤・通学に便利	5.5
11	福祉や医療が充実している	3.7
12	その他	2.8
13	行政の対応が早い	1.8
14	文化や教育が進んでいる	0.5
-	無回答	0.4
	計	100.0

Q4：山梨県のよくないところ

順位	選択肢	%
1	市街地に活気がない	55.2
2	魅力ある雇用の場が少ない	48.0
3	通勤・通学に不便	36.6
4	買い物に不便	26.9
5	道路・公園・下水道の整備が遅れている	19.1
6	文化や教育のレベルが低い	17.4
7	好ましくない風習が残っている	16.0
8	福祉や医療が遅れている	14.7
9	行政の対応が遅い	14.7
10	物価が高い	5.7
11	人情味が薄い	3.8
12	自然災害が多い	1.8
13	その他	4.0
-	無回答	0.8
	計	100.0

Q5:「豊かさ」のイメージ

順位	選択肢	%
1	心身の健康	56.0
2	時間的なゆとり	40.7
3	収入や資産が多い	40.6
4	快適な居住環境	39.4
5	恵まれた人間関係	28.8
6	恵まれた自然	25.0
7	生活が便利	17.0
8	衣食の充実	16.4
9	働くよろこび	14.5
10	文化・学習機会の充実	6.4
11	社会奉仕(ボランティア)活動による生きがい	1.8
12	その他	0.6
-	無回答	0.3
	計	100.0

Q6: 行政の施策についての要望

順位	選択肢	%
1	バス・鉄道などの公共交通機関の充実と利便性の向上	38.1
2	高齢者、障害者をはじめ誰もが安心して生活できる地域福祉の推進	36.4
3	商業の振興や商店街・市街地の活性化	31.8
4	雇用の安定に向けた人材の育成や企業等のニーズに応じた就業の支援	31.0
5	子育てしやすい環境づくりや、育児への支援	28.3
6	適切な医療が受けられる体制の充実や、健康づくりへの支援	28.2
7	地震、風水害、土砂災害などから生命や財産を守る防災・災害対策	25.2
8	自然環境の保護	22.7
9	成長産業の育成や地場産業等経済を循環させる産業の強化	20.6
10	山梨の魅力をいかした観光の振興や、県産品の普及・宣伝	19.9
11	学校教育の充実や、健全な青少年の育成	16.4
12	人やものの交流を支える道路の整備	16.0
13	農業や農村の振興	15.5
14	防犯や交通安全、消費者被害の防止など、安全で快適な社会づくりの推進	15.1
15	未知なる感染症に対する強靱な社会づくり	14.7
16	県内への移住・定住の促進、複数拠点で生活できるまちづくりの推進	13.7
17	特色や活気のあるまちなみづくりや美しい景観の形成	11.3
18	性別を問わず、誰もが個性や能力を発揮できる環境の整備	9.4
19	省エネ・再生可能エネルギーの推進など、脱炭素社会の実現に向けた支援	9.1
20	健全な森づくりと、それを支える林業の振興	8.6
21	芸術文化・スポーツの振興や、生涯学習機会の支援	7.4
22	第5世代移動通信システム(5G)などの通信環境の充実	6.6
23	地域を支えるコミュニティづくり	5.7
24	行財政改革や県政情報の発信など、効率的・効果的な行政運営の推進	5.2
25	ICT(情報通信技術)の活用などによるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進	3.8
26	その他	2.3
-	無回答	0.5
	計	100.0

Q7: 地域産業の振興

順位	選択肢	%
1	将来性のある優良企業の誘致や県内企業の規模拡大の推進	42.3
2	地域産業を担う、技術や知識を身につけた人材の確保・育成	37.4
3	中小企業の新技術・新製品の開発支援	31.3
4	起業や創業の支援	25.6
5	ジュエリー、繊維、ワイン、日本酒などの地場産業のブランド化や販売力の強化	20.3
6	燃料電池や医療機器といった成長産業分野への県内企業の参入に対する支援	19.9
7	リニア中央新幹線開業効果の全県への波及	18.8
8	事業活動に必要な資金が十分に調達できるしくみの充実	17.6
9	技術力向上を図るための産学官(産業界・大学など・行政)の連携強化	16.7
10	伝統工芸品の後継者育成への支援など、伝統産業の振興	12.0
11	将来の産業発展につながる科学技術の振興	11.1
12	中小企業の海外市場を含めた販路開拓への支援	10.6
13	その他	2.1
-	無回答	1.4
	計	100.0

Q8: 農業の振興

順位	選択肢	%
1	新たに農業に従事する人や企業の農業参入への支援など、多様な担い手の確保・育成	46.9
2	県産農産物のブランド力の強化と消費者へのPRなど販売促進活動の推進	36.7
3	耕作放棄地の再生・活用の支援	34.6
4	山梨独自の新たな品種の開発と、その普及・宣伝	29.1
5	農産物の新たな販路の開拓や需要の拡大など、販売戦略の強化	20.6
6	農道や農地の整備など、農業生産基盤の整備の推進	18.5
7	経営規模の拡大や新たな技術の導入など、農業経営の効率化への支援	18.1
8	食品産業などとの連携による新たな農産加工品の開発、名産品づくりへの支援	15.0
9	農作物への鳥獣害の防止対策の強化	14.8
10	県産農産物の県内消費(地産地消)の拡大	11.6
11	果実などの海外への輸出拡大に向けた支援	10.1
12	ICTの活用などによるスマート農業の研究・普及	8.9
13	4パーミル・イニシアチブなど地球環境に配慮した農業の推進	2.2
14	その他	2.0
-	無回答	1.1
	計	100.0

Q9: 林業の振興

順位	選択肢	%
1	林業の担い手となる人材の確保・育成	60.0
2	間伐や、主伐後の再造林等の森林整備の推進	46.9
3	木の良さや利用の意義などの普及啓発	27.4
4	県産材を低コストで供給するサプライチェーンの構築	21.6
5	公共施設の木造・木質化の推進	18.1
6	住宅や民間建築物の木造・木質化の推進	17.1
7	森林整備や木材搬出のための林内路網整備	15.5
8	木塀などの外構部材、木のおもちゃなど幅広い分野での木材利用の推進	15.0
9	木質バイオマスの利活用の推進	11.9
10	ICTや高性能林業機械を活用した森林施業の生産性向上	11.1
11	県産材の県外及び海外への販路開拓	8.5
12	県産FSC認証材のブランド化	6.1
13	その他	2.1
-	無回答	1.2
	計	100.0

Q10: 環境の保全_心がけていること

順位	選択肢	%
1	買い物袋(マイバッグ)や自分専用の箸(マイ箸)の持参などによるごみの減量化	70.2
2	ごみの分別の徹底	64.9
3	節電や節水	60.4
4	食べ残しの発生抑制などによる食品ロスの発生防止	45.8
5	アイドリングストップや、急発進・急加速などを避けるエコドライブ	32.7
6	省エネ家電など、エネルギー消費の少ない商品の購入	31.3
7	草木を植えるなどの緑化	27.2
8	リサイクル(再生)品の購入	19.2
9	太陽光発電の導入など、クリーンエネルギーの活用	18.9
10	緑のカーテンによる冷房利用の抑制	10.8
11	マイカー利用を控え、バス、電車、自転車の利用	6.5
12	環境美化などのボランティア活動や、環境に関する学習機会の活用	5.5
13	電気使用量から二酸化炭素排出量を推計する環境家計簿の利用	2.1
14	特に何もしていない	2.4
15	その他	0.6
-	無回答	0.4
	計	100.0

Q11:環境の保全_行政への要望

順位	選択肢	%
1	地球温暖化防止などに貢献する森林の整備保全や、水資源の保護	34.8
2	廃棄物の不法投棄対策の強化	31.8
3	省エネやリサイクルの推進など、環境への負荷が少ない生活スタイルの普及	31.5
4	産業廃棄物や家庭ごみの処理対策	29.3
5	太陽光、水力などのクリーンエネルギーの普及促進	28.6
6	大気・土壌汚染、水質汚濁、騒音、悪臭など、身近な生活環境悪化への対策	27.7
7	マイカー利用からバス、電車、自転車利用への転換促進や、公共交通機関の充実	20.6
8	燃料電池車の普及促進など、水素エネルギーの利活用の推進	18.9
9	下水道整備や浄化槽の設置推進による生活排水対策	17.4
10	企業が行う事業活動の省エネ化や低公害化への支援	13.8
11	環境保護意識の啓発や、環境教育の推進	11.1
12	その他	1.1
-	無回答	0.7
	計	100.0

Q12:観光の振興

順位	選択肢	%
1	日本有数の山々・景観や温泉、文化財など、地域の資源をいかした観光地づくり	43.8
2	ワイン、ジュエリーなど県産品のブランド力をいかした観光客誘致	30.3
3	インターネットやスマートフォンなどによる、山梨県の魅力や観光情報の発信	27.3
4	観光客が利用する施設(遊歩道、トイレなど)の整備・改修	26.2
5	農業体験や自然環境の学習など、参加・体験型旅行商品の開発促進	25.1
6	映画やテレビ番組などの撮影の誘致	23.0
7	リニア中央新幹線や中部横断自動車道を活用した広域的観光地づくりの推進	22.2
8	観光地を結ぶバスネットワークなど、観光客が利用しやすい公共交通の充実	21.5
9	森林セラピーやグランピングなどアウトドア・アクティビティの場としての森林空間の積極的な活用	17.4
10	おもてなしの推進に向けた県民挙げての取り組み	9.1
11	山岳遭難防止のための啓発など、安全登山に向けた山岳遭難防止対策の推進	9.0
12	公共LANの整備など観光客誘致のための取り組み	5.9
13	ワーケーションの受け入れ環境の整備・支援	4.8
14	新しい通信技術を活かした付加価値の高いサービスの創出	4.2
15	その他	2.2
-	無回答	0.6
	計	100.0

Q13: 交通政策

順位	選択肢	%
1	歩道の拡幅や段差の解消、自転車道、通学路の整備などによる交通の安全性確保	42.9
2	中部横断自動車道の早期整備や中央自動車道の渋滞対策など、高速道路網の充実	41.7
3	生活に密着した市町村道の整備	37.9
4	地域間を結ぶ国道や県道の整備	26.7
5	新山梨環状道路など、県内交通の骨格となる道路網の整備	26.4
6	日常生活を支えるバス路線の確保・維持	24.5
7	JR中央線の利便性向上による東京圏などへのアクセス向上	21.8
8	リニア中央新幹線の開業効果を全県に波及させるための交通ネットワークの整備	20.4
9	交差点の改良やバスレーンの設置などによる渋滞の解消	11.5
10	パークアンドライドなど、車に依存しすぎない公共交通機関を利用した交通体系の推進	10.1
11	ICTを活用した自動運転など新たな交通サービスの導入に向けた取り組み	4.5
12	その他	1.8
-	無回答	0.6
	計	100.0

Q14: 地域福祉

順位	選択肢	%
1	高齢者や障害者が快適に暮らせるまちづくり	50.5
2	高齢者や障害者の多様なニーズに応じた福祉施設の整備	33.5
3	介護保険制度の充実(介護サービスの質の向上など)	32.9
4	質の高い福祉サービスが提供できるような福祉人材の養成・確保	29.6
5	高齢者の介護を地域全体で支えるための、生活支援サービス提供体制の充実	27.5
6	高齢者や障害者などの社会参加活動の促進	19.4
7	障害者の日常生活を支援する障害福祉サービスの充実	18.3
8	認知症に対する理解促進や予防プログラムの普及など、認知症患者への総合的な支援体制づくり	17.6
9	障害や障害者に関する正しい理解の促進や、福祉教育の推進	16.6
10	障害者の就労への支援(農福連携の推進を含む)	13.8
11	自殺予防への意識を高めることや、地域が自殺防止に取り組む体制の整備・充実	9.1
12	薬物やアルコールなどの依存症に係る医療提供体制の整備や回復促進等の支援	4.4
13	その他	1.1
-	無回答	0.6
	計	100.0

Q15: 保健医療

順位	選択肢	%
1	休日や夜間など緊急時の救急医療体制の整備	61.9
2	住み慣れた居宅などで必要な医療サービスが受けられる在宅医療の充実	36.6
3	地震などの災害時に、すみやかに必要な医療が提供される体制の充実	32.0
4	医療の提供体制が特に弱い地域に対する、医療機能の強化に向けた支援	27.1
5	がんなど主要な病気に対する診療体制の整備	21.5
6	産科医や小児科医など医師の確保・定着	20.2
7	疾病や生活習慣病など予防可能な病気に関する正しい知識の普及啓発及び、予防などの取り組み	14.8
8	看護師や助産師など看護職員の確保・定着	14.5
9	健康づくりに関する正しい知識の普及啓発や、活動への支援	14.4
10	不妊治療や出産前後の健診・医療が身近で安心して受けられる体制の充実	11.2
11	遠隔医療やICTを活用したオンライン診療の普及促進	10.8
12	難病医療提供体制の充実	6.9
13	その他	1.3
-	無回答	0.5
	計	100.0

Q16: 子育て支援

順位	選択肢	%
1	働く親が放課後などに安心して子どもを預けられる場の確保(放課後児童クラブなど)	41.8
2	ワーク・ライフ・バランスの推進など子育てしやすい職場環境づくりの支援	30.9
3	延長保育や病児保育、休日・夜間保育など、保育サービスの充実	27.3
4	休日・夜間の急な子どもの病気やけがに対処できる救急医療や電話相談などの体制の充実	25.5
5	子どもを犯罪や交通事故から守る、安全確保の取り組み	25.3
6	子育てに伴う経済的負担の軽減	24.2
7	子育てについての相談やカウンセリングが受けやすい体制の充実	24.0
8	心の問題を抱えた子どもやその家族への相談支援、心の健康を支える体制の充実	21.4
9	児童虐待の防止と早期対応の推進	17.5
10	子育てに役立つ情報提供の充実	16.2
11	子育て中の親に対する職業訓練や就職支援の充実	10.6
12	育児や家事を男女が協力して行うような意識の啓発	9.3
13	その他	1.4
-	無回答	1.5
	計	100.0

Q17: 防災・災害対策

順位	選択肢	%
1	災害など緊急時に備えた食料、飲料水、医薬品などの備蓄や確保	37.9
2	災害や避難に関する情報を、県民にすみやかに提供するシステムの整備	37.0
3	災害時における電力供給体制の強化	27.2
4	洪水や山地崩壊、土砂災害などによる被害を防止する施設の整備	26.3
5	学校、病院などの公共施設や住宅の耐震化の促進	23.3
6	富士山火山噴火時の避難を支援する減災対策の推進	23.0
7	消防防災ヘリコプターの運航体制の確保や近隣自治体との応援体制の連携強化など、広域的な防災体制の充実	21.3
8	地域防災リーダーの養成や、防災に関する学習機会の提供など、地域防災力の強化への支援	19.1
9	消防団や水防団活動の活性化や自主防災組織の育成など、地域での組織的な災害対応力の強化	19.0
10	避難・救助活動や物資援助に役立つ、災害に強い道づくりや橋の耐震化の推進	16.7
11	消防本部の広域化による防災組織・体制の強化、災害時対応力の強化	12.7
12	地震災害時に避難地や物資の集積地として機能する、都市公園の防災拠点化の推進	12.6
13	その他	1.1
-	無回答	0.7
	計	100.0

Q18: 安全な社会づくり

順位	選択肢	%
1	防犯カメラ、防犯灯の設置などによる子ども・女性の安全確保や犯罪の未然防止	67.5
2	交通事故防止や飲酒運転根絶のための、運転者や歩行者への意識啓発など、交通安全対策の充実	35.9
3	高齢者、障害者をはじめ誰もが利用しやすい施設や通路、駐車場などの整備の推進	35.2
4	電話詐欺など高齢者が被害に遭う危険性の高い犯罪の防止	35.1
5	自主防犯団体の支援や住民の防犯意識の啓発など、地域ぐるみの防犯活動の推進	23.8
6	インターネット上の犯罪から県民を守るためのパトロール体制強化など、サイバー犯罪対策の推進	17.6
7	暴力追放運動の支援や県民・事業者への暴力団排除意識の啓発など、暴力団排除活動の推進	15.6
8	食品の安全性を確保する監視・検査体制の充実	13.3
9	インターネット上でのモラルやマナーの向上(SNSへの書き込みなど)に関する普及啓発	12.8
10	犯罪被害者への支援対策の充実	10.8
11	商品・サービスに関する取引の適正化や相談体制の充実	4.4
12	その他	0.8
-	無回答	0.6
	計	100.0

Q19: 学校教育

順位	選択肢	%
1	基礎的な知識・技能や学ぶ意欲、思考力・判断力・表現力などを身につける教育の充実	41.2
2	教職員の資質・指導力の向上	39.2
3	きめ細かな指導が可能となる少人数教育の充実	24.8
4	奉仕・自然・農業体験など、自ら考え、判断し、他者と協働して行動できる資質や能力を育む体験活動の充実	20.6
5	子どもの体力向上への取り組みの推進	18.1
6	子どもの心の問題に対応するための専門員の配置など、支援体制の強化	18.1
7	国際的に活躍できる人材を育てる語学教育などの充実	16.6
8	社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育むキャリア教育・職業教育の充実	15.9
9	障害のある子どもなど、特別なニーズに対応する教育の充実	11.6
10	学校への冷房設備導入や校庭の芝生化など、快適な教育環境の整備推進	11.2
11	魅力と活力ある高校づくりの推進(中高一貫教育、専攻科の設置など)	10.6
12	大学など、高等教育機関の充実	10.0
13	豊かな自然環境を生かした知的好奇心や感性を育む幼児教育の充実	9.2
14	食育(食に関する正しい知識や行動を身につけるための教育)の推進	8.2
15	地域が学校教育を応援する体制づくりなど、学校・家庭・地域の連携強化	7.4
16	郷土のことを知り、大切に思う心を育むための、郷土教育(歴史、環境、自然、景観)の充実	7.2
17	創造性を育む学びを実現するため「1人1台端末」と高速通信ネットワークの整備	6.2
18	その他	2.0
-	無回答	1.1
	計	100.0

Q20: 文化・スポーツ・生涯学習

順位	選択肢	%
1	公立施設(文化ホール、図書館、美術館、博物館など)における芸術文化に触れる機会の充実	53.0
2	身近な地域でスポーツやレクリエーションをする機会の提供	37.0
3	県内スポーツ選手の競技力の向上や、素質あるジュニア選手(児童生徒など)の育成強化	27.6
4	文化財の保存・活用	27.5
5	スポーツ指導者の養成と、スポーツ少年団の育成・強化への支援	27.4
6	芸術文化活動やスポーツ・レクリエーション活動、生涯学習に関連する情報提供	24.7
7	郷土の歴史や文化を自ら学べる機会(講演会、講座、学級、教室など)の充実	21.8
8	県内各地の文化施設のネットワーク化	15.3
9	社会教育を推進する団体の取り組みへの支援	13.8
10	その他	1.7
-	無回答	1.4
	計	100.0

Q21:二拠点居住・移住・定住の促進

順位	選択肢	%
1	働く場の確保	65.5
2	医療サービス・子育て支援・地域福祉の充実	31.0
3	山梨に住みながら近隣の都県に通勤・通学ができるような、道路や公共交通機関の利便性向上	28.3
4	治安が良い、災害に強いなど安全に暮らせる地域づくり	22.6
5	性別を問わず誰もが生き生きと暮らせる環境づくり	21.8
6	サテライトオフィス(情報通信機器を用いて山梨にいながら県外企業に勤務できる形態)などの体制整備支援	15.8
7	生活を支える身近なバス路線など、日常の移動手段の利便性向上	14.5
8	農・林業の担い手の確保・育成	12.8
9	移住者に対する定住支援等受入環境の整備	12.0
10	自然環境や景観の維持・形成	11.2
11	情報提供の充実(県内企業の就職情報、移住に関する情報の提供など)	10.3
12	リニア中央新幹線等を活用した新たなライフスタイルの提案	10.3
13	教育環境の充実	7.5
14	芸術文化・スポーツ・レクリエーションや娯楽・レジャーの充実	5.8
15	結婚活動(婚活)への支援	5.0
16	外国人労働者の受け入れの推進	4.3
17	その他	1.3
-	無回答	0.8
	計	100.0

Q22: 公共施設整備

順位	選択肢	%
1	日常生活でよく利用する道路	46.9
2	公共交通機関(バスや鉄道など)	35.0
3	公園、広場、遊歩道、遊園地など	29.1
4	高度医療施設(総合病院など)	25.6
5	高齢者福祉施設	21.7
6	災害対策施設(河川改修や土砂災害対策工事など)	21.1
7	地域医療施設(診療所など)	14.9
8	スポーツ施設(体育館、運動場など)	13.3
9	駐車場や駐輪場	10.5
10	文化施設(図書館、美術館、博物館、文化ホールなど)	9.8
11	下水道	9.4
12	児童福祉施設(保育所、児童館など)	8.4
13	高等教育機関(大学、短大など)	7.7
14	障害者福祉施設	5.2
15	公営住宅	5.0
16	その他	2.1
-	無回答	1.1
	計	100.0

Q23:山梨県の将来像

順位	選択肢	%
1	自然	70.9
2	安全	41.4
3	やすらぎ	39.6
4	快適	37.4
5	健康	26.6
6	伝統	12.5
7	調和	11.6
8	開発	8.1
9	交流	6.0
10	先進	5.5
11	田園	5.1
12	個性	4.9
13	国際	4.0
14	にぎやか	3.7
15	洗練	1.8
16	中心	0.9
17	その他	1.0
-	無回答	0.8
	計	100.0

【重点項目】

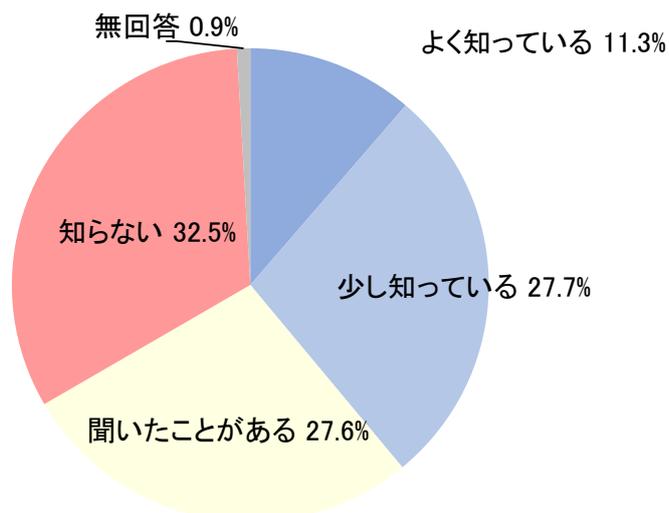
Q24: 未知なる感染症への対策

順位	選択肢	%
1	感染症の拡大に耐えられる医療提供体制の強化	71.1
2	県内の感染状況や適切な感染防止策などの迅速かつわかりやすい情報の提供	40.5
3	生活に困っている世帯や個人への支援	30.1
4	教育機関、福祉施設、介護施設などにおける感染症対策の強化	24.8
5	観光、飲食業、交通、イベント事業者などに対する支援	22.2
6	感染症対策に精通した看護師などの専門的な人材の育成	21.2
7	雇用の維持や確保に向けた支援	18.3
8	中小・小規模事業者への支援	14.9
9	休校や学校行事の制限などに対応した学びの機会の確保	10.7
10	遠隔医療やICTを活用したオンライン診療の普及促進	5.8
11	ウェブ会議システムやICTなどを活用したリモート化の推進	5.0
12	事業者が行う感染症防止対策に対する公的認証制度による支援	4.9
13	農林水産業者への支援	3.5
14	その他	1.9
-	無回答	1.1
	計	100.0

Q25: コミュニティづくり

順位	選択肢	%
1	気軽に参加できる集いやイベントなどの開催	37.7
2	気軽に集まれる施設や拠点づくり	36.9
3	出産・子育て・介護など同じ悩みを持つ人との情報交換や交流機会	26.2
4	日常生活における相談体制の充実	25.6
5	地域における見守り活動の支援	19.4
6	介護予防や健康づくりなど通いの場の創出	17.1
7	集いの場やイベントなどに参加するための交通手段の確保	15.0
8	地域で活動するサークルやボランティア団体などの活動支援	14.7
9	自治会活動の運営支援	14.3
10	地域とのつなぎ役を担う人材の育成	13.8
11	地域で活動するサークルやボランティア団体などの紹介・周知の支援	10.8
12	オンライン講座の開催や地域のサークル活動などをオンラインで行うための支援	10.3
13	SNSなどを活用した趣味の合う仲間づくりの支援	8.7
14	その他	1.9
-	無回答	1.6
	計	100.0

Q26:SDGs_認知



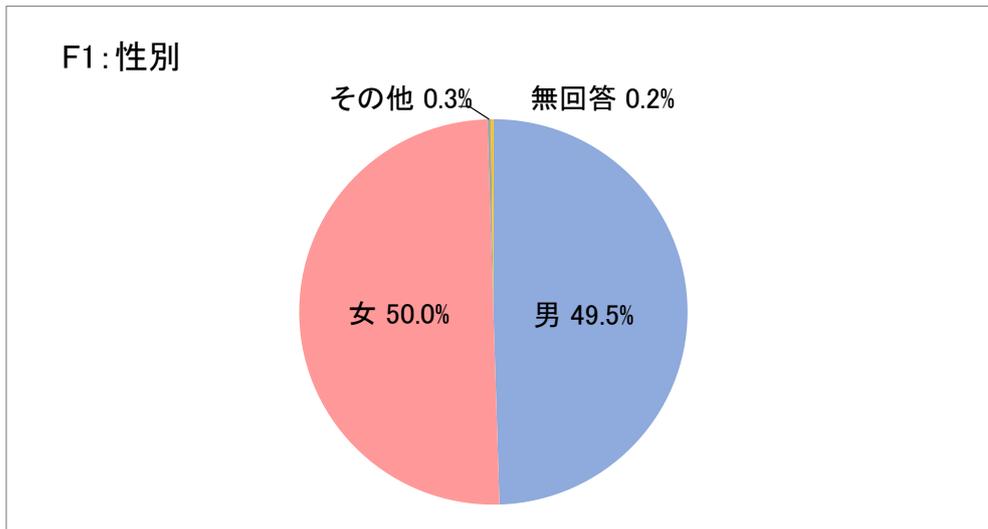
Q27:SDGs_山梨県として取り組むべき目標

順位	選択肢	%
1	すべての人に健康と福祉を	52.8
2	住み続けられるまちづくりを	45.6
3	貧困をなくそう	31.5
4	働きがいも経済成長も	26.9
5	質の高い教育をみんなに	15.7
6	人や国の不平等をなくそう	15.3
7	平和と公正をすべての人に	14.9
8	気候変動に具体的な対策を	12.6
9	安全な水とトイレを世界中に	10.6
10	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	10.0
11	飢餓をゼロに	8.9
12	つくる責任 つかう責任	8.0
13	産業と技術革新の基盤をつくろう	7.4
14	ジェンダー平等を実現しよう	7.1
15	陸の豊かさを守ろう	5.0
16	海の豊かさを守ろう	2.6
17	パートナーシップで目標を達成しよう	1.4
-	無回答	1.7
	計	100.0

Q28:SDGs_推進のために、県がすべきこと

順位	選択肢	%
1	具体的な取組事例の紹介	29.6
2	県民・企業・団体・大学・行政などあらゆる分野の関係者の連携・協働	26.6
3	メディアを活用したSDGsに関する情報の発信	22.6
4	学校教育へのさらなる浸透	10.4
5	セミナーやフォーラムなどSDGsに関する意識の醸成を促す場の提供	6.7
6	その他	2.0
-	無回答	2.1
	計	100.0

【回答者の属性】



F2: 年齢

No.	カテゴリ	%
1	18～19歳	2.6
2	20～24歳	4.3
3	25～29歳	4.7
4	30～34歳	5.8
5	35～39歳	5.9
6	40～44歳	7.4
7	45～49歳	8.4
8	50～54歳	8.0
9	55～59歳	9.2
10	60～64歳	7.9
11	65～69歳	8.9
12	70～74歳	10.4
13	75歳以上	16.5
-	無回答	0.1
	計	100.0

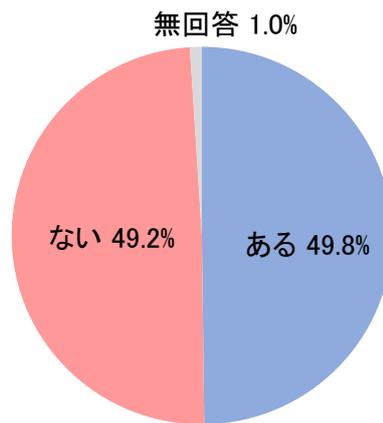
F3: 職業

No.	カテゴリ	%
1	農林水産業	4.3
2	商工・サービス業(卸小売業・飲食業・製造加工業・建設土木業など)	13.3
3	自由業(開業医・弁護士・宗教家・芸術家・著述業・茶華道師匠など)	2.1
4	会社、商店、工場などに勤めている	31.2
5	官公庁、公共企業体に勤めている	6.3
6	学生	3.9
7	主婦・主夫(パート)	11.5
8	主婦・主夫(専業)	15.4
9	その他	11.2
-	無回答	0.8
	計	100.0

F4: 居住年数

No.	カテゴリ	%
1	1年未満	1.0
2	1～5年未満	3.5
3	5～10年未満	2.3
4	10～20年未満	9.2
5	20年以上	83.8
-	無回答	0.3
	計	100.0

F5: 県外居住経験



F6: 居住地

No.	カテゴリ	%
1	甲府市	22.2
2	富士吉田市	5.7
3	都留市	3.6
4	山梨市	4.0
5	大月市	2.3
6	韮崎市	3.5
7	南アルプス市	8.7
8	北杜市	5.3
9	甲斐市	9.7
10	笛吹市	9.0
11	上野原市	3.3
12	甲州市	3.2
13	中央市	3.7
14	市川三郷町	1.6
15	早川町	0.5
16	身延町	1.7
17	南部町	1.1
18	富士川町	1.3
19	昭和町	2.1
20	道志村	0.5
21	西桂町	0.4
22	忍野村	1.1
23	山中湖村	0.3
24	鳴沢村	0.6
25	富士河口湖町	3.5
26	小菅村	0.6
27	丹波山村	0.5
	計	100